

昭和42年度吉田賞選考委員会の経過と授賞理由について

吉田賞選考委員会委員長 篠原 武 司

吉田賞受賞者の決定とその授賞理由および吉田研究奨励金の被授与者の決定の経過を申し述べます。

吉田賞は、故吉田徳次郎博士の功績を永く記念するために設けられたもので、今年度の授賞は第7回目に当っております。

本委員会は、42年9月14日第1回委員会を開き、本年度委員会の運営方針および募集要項を決定し、これを土木学会誌上に発表いたしました。

43年1月20日の期限までに、各方面より推薦されました吉田賞候補は9件であり、吉田研究奨励金には同じく9件の応募がありました。

9件の吉田賞候補論文をただちに全委員に送付し、各委員において慎重に検討ののち、43年3月21日第2回委員会を開きその内容につき十分な討議を重ねたうえ、本審査に付すべき候補3件を選出いたしました。また、同第2回委員会において吉田研究奨励金小委員会を設け、応募の9件につき審査が進められました。吉田賞候補の3論文については、全委員が慎重に検討して、それぞれの採点表を土木学会宛に郵送し、これを43年4月8日の第3回委員会において開票して、吉田賞候補を内定し、42年4月18日開催の第3回表彰委員会で決定いたしました。

つぎに、吉田賞に対する選考理由と、吉田研究奨励金授与の研究課題および研究者名を報告いたします。

吉 田 賞

高張力異形鉄筋の使用に関する 基礎研究

(著者名：岡 村 甫)

(コンクリート・ジャーナル)
第4巻第2号、第6号所載)

岡 村 甫

本論文は、国産の各種高張力異形鉄筋について機械的性質、コンクリートとの付着性状を試験するとともに、これを用いた鉄筋コンクリートはりの静的曲げ試験ならびに曲げ疲労試験を行ない、鉄筋コンクリートはりのひび

われ性状、疲労性状等を詳細に検討し、高張力異形鉄筋の使用上の種々の問題点について論じたものであります。

著者は、まず鉄筋の付着性能を、引抜き試験および鉄筋コンクリートはりの静的・動的曲げにおけるひびわれ幅の測定によって検討し、その結果、現行JISに適合する表面形状の異形鉄筋であれば、特別の場合を除いてその付着強度は大きく、くり返し载荷にともなうひびわれ幅の増加も実用上認められないことを明らかにしております。

つぎに、各種鉄筋を用いた多数の鉄筋コンクリートはりの曲げ疲労試験を行ない、鉄筋の種類によって疲労強度が著しく相違する主要な原因は、フシの取り付け部における勾配の緩急にあることを指摘し、耐疲労性および付着性の両者を満足する適切な表面形状を示唆しており、高張力異形鉄筋の表面形状に関し有益な資料を与えております。

さらに、著者は土木構造物に用いる鉄筋の許容引張応力度は降伏点、曲げひびわれ、耐疲労性等を考慮して定めるべきことを指摘し、各種鉄筋の許容引張応力度の適値を提案しており、これらは土木学会コンクリート標準示方書の改訂の重要な基礎資料となったのであります。

今日、高強度異形鉄筋の使用はますますさかんとなっておりますが、その使用上の多くの重要な問題点を解明した著者の貢献はきわめて多大であると申せます。

よって、吉田賞に値するものと認められたのであります。

吉田研究奨励金授与の 研究課題と研究者名

Finite Element 法のコンクリート 構造への適用に関する研究

吉 竹 孝 之

異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリートの ひびわれに関する研究

外門正直・大塚浩司

砕石を用いたかた練りコンクリートの
振動締固めに関する研究

河野 清

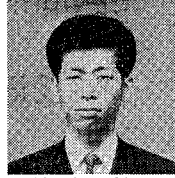
部材のプレキャスト ブロック化による
構造物の急速施工法の研究

村上 温・森口幸雄

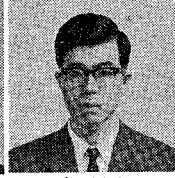
以上の研究課題は、いずれも重要な問題であり、それぞれの研究者は独創性と将来性に富み、奨励金の授与に値するものと認められます。

今回の奨励金が活用され、これらの方々が一層立派な研究者、技術者に成長されますことを確信する次第であります。

吉田研究奨励金授与者



よし たけ たか ゆき
吉竹孝之君
京都大学工学部



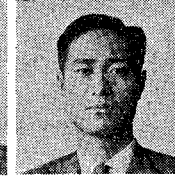
と も ん ま さ な お
外門正直君
東北大学工学部



お つ か こう じ
大塚浩司君
東北大学工学部



こ の き よ し
河野清君
徳島大学工学部



む ら か み あ つ し
村上温君
運輸省港湾技術研究所



も り く ち ゆ き お
森口幸雄君
運輸省港湾技術研究所

コンクリート
ライブラリー 第15号 ■ ディビダーク工法設計施工指針(案)

内 容 ■ 1編 総則/2編 材料/3編 施工/4編 設計/付:ディビダーク工法設計・施工の参考
体 裁 ■ B5判 88 ページ
定 価 ■ 700 円 会員特価 ■ 500 円

コンクリート
ライブラリー 第17号 ■ MDC工法設計施工指針(案)

内 容 ■ 1編 総則/2編 材料/3編 施工/4編 設計/付:MDC工法設計施工の参考
体 裁 ■ B5判 94 ページ
定 価 ■ 700 円 会員特価 ■ 500 円

新刊

応用力学

荒井利一郎著 A5・380頁/定価950円

本書は大学程度土木工学の学習を志す人々のために、その学習の基礎として応用力学の課程を修めるときの手引になるよう書かれた好指導書
〔主要目次〕第1章力およびモーメント/第2章力のツリアイ/第3章引張り部材といわゆる“短柱”/第4章ハリ(はり)の総論/第5章移動荷重の作用により静定バリに生じるべき応力、せん断力および曲げモーメント/第6章圧縮部材(柱)/第7章静定平面トラスの1次応力/第8章仮想仕事法の総論およびヒズミエネルギー法の概念/第9章連続バリおよび固定バリ/第10章橋の上部構造として、しばしば用いられている数種の不静定構造/第11章雑論/第12章土圧および土の支持力

構造力学における還元法

一遷移行列による方法一

R.ケルステン著 伊藤学訳 B5・248頁/定価1500円

本書は構造物の行列解法の一つである還元法について、具体例を豊富にあげながら、この方法の適用のしかたを明確に、しかも詳細に記述、各種の梁構造、ラーメン構造格子構造などを網羅して一々、懇切な数値計算例を付し、電子計算機にプログラミングを行なうまでの処置にまで配慮がなされている〔主要目次〕行列計算の概論/還元法に関する一般的な考察/格間を通して一定な曲げ剛さ EI_y をもつ、任意に支持された単けたおよび連続けた/閉じない平面ラーメン構造/閉じた平面ラーメン構造/格子構造/立体的応力の作用する変断面部材/還元法のプログラミング

東京都港区赤坂1-3-6 技報堂 TEL(584)4786・振替口座東京10